



QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は、画像を読み込み、サイトにアクセスしていただくことで、県政報告会の様子をご覧いただけます。



海東英和県議会議員事務所

〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5 電話 0740-25-0777 FAX 0740-25-0778
Mail : web_info@hi-kaito.com ホームページ http://hi-kaito.com



藤樹書院の儒式祭典 H30.9.25



祝 安曇川高校卒業式 H31.3.1

百瀬川上流域の南斜面に群生するエドヒガンザクラ



近年の卒業(園)式は、様々に工夫された演出や歌、映像などで胸が熱くなります。ご成長を心からお祝い申し上げます。ある北欧の国では、親子孫の三世代と一緒に歌える歌を大切にしているとか。この頃、歌われなくなった「蛍の光」や「仰げば尊し」の美しい日本語の調べも若者に習ってほしいと思います。「仰げば尊し」の2番「身を立て、名をあげ」は、藤樹先生が毎朝拝誦された「孝経」の「身を立て、道を行い、名を後世にあげて父母を顕すは、孝の終わりなり」から引用されています。愛と敬の心こそ、子どもたちに持たせてやりたいものです。

朽木桑野橋、2022年 架け替えに決定

平成34年度から朽木の桑野橋の改築に着手する方針が決まりました。それまで、安全に配慮し改修などをしながら通行を確保します。ルートも含め地元とご相談をしていきますのでご協力をお願いします。



古墳時代後期の鴨稲荷山古墳被葬者の想像モデル(安土城考古博物館)出土の金銅製の冠や靴などは国立博物館に収蔵

今年5月1日に第126代の天皇陛下が即位され、新たな御代が始まります。日本書紀によると100代遡ること第26代継体天皇になられた男大迹王(をほ)のおおきみは、近江國高嶋郷三尾野でお生まれになったとあり、天皇家のご先祖は高島のお生まれです。滋賀県が、文化財課を中心に歴史的な事実に関心をもち、広く県民に知らせ継体天皇を顕彰することを提案します。



滋賀県には継体天皇ゆかりの史跡や伝承地が高島市中



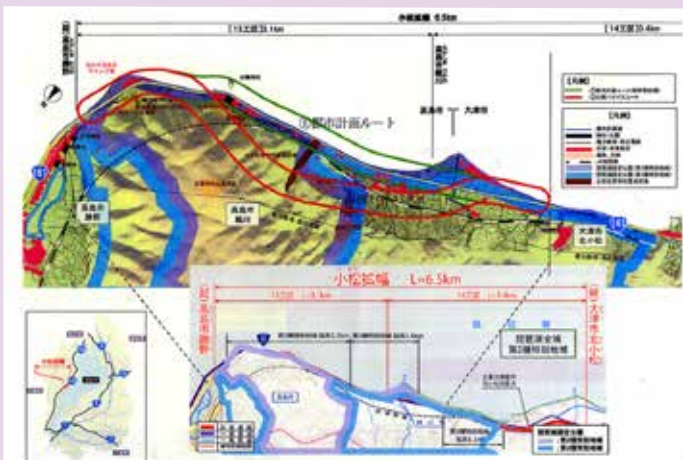
安産もたれ石、えな塚、天皇橋、御殿川、田中王塚古墳、鴨稲荷山古墳、三重生神社、水尾神社などで、坂田や米原の息長氏との関係も注目されます。これから関心を持ち、県民の皆さんにもお知らせしたいと思っています。

健康長寿をテーマにウォーキングイベントで継体天皇の史跡をめぐるハイキングなどを実施します。文化財課が資料整理などを支援します。

第26代継体天皇は高島で誕生 県民に周知し顕彰しよう

R 161号白鬚神社前ルート見直しへ

琵琶湖張り出しの都市計画決定を見直し、大津市境辺りから山側に迂回し湖西線を越えてトンネルで神社の背後を貫くルートに変更が3月25日に決まりました。北小松駅から白鬚トンネル工事へ継続して工事が進むよう力を合わせ努力します。



国土交通省からの会議資料

これまで「滋賀県広域連携推進の指針」の「道路インフラ整備」に位置付けられていたR161号が、福井県との広域連携計画に新

福井・滋賀の広域連携インフラ整備計画にR161が追加記入

これに明記されました。これで、国とも協力し敦賀へのアクセス向上に取り組みむスタートラインに立てます。



祝 JR新旭駅エレベーター竣工 3月26日テープカット

念願のエレベーターが完成しました。乗降客が3千人未満の駅です国1/3、JR 1/3、県と市が1/6ずつの負担で実現。



次は、マキノ駅のエレベーター実現に注力します。観光の着地駅機能の充実は県にも利点がある！



耕運記



二〇二二年の全国植樹祭の滋賀県大会が甲賀市鹿深の森で開催されます。その際の皇后陛下お手植えの一本にエドヒガンザクラが選定されました。百瀬川流域に自生することでも知られ松見先生中心に手塩にかけて苗を育ててくださっています。繋がりますように。

琵琶湖の深い層に、固有の鯉が生息していることが近年のDNA研究で分かってきました。ノゴイ、スゴイが琵琶湖固有種で少し体型も違います。何とヤマトゴイは外来種です。よって放流はご法度です。改めて琵琶湖固有の鯉を大切にしていこう活動も提案しています。

自然の励ましと猛威を両方受けとめて新しい御代を迎えます。西暦507年に即位された継体天皇から1500年続く皇統は、世界の人々からも尊重され、両陛下の行動は尊敬を集めています。天皇家のルーツが高島にあることを、郷土の誇りに加え、発奮材料にしたいと思うのですが如何ですか。春力来マシタ。